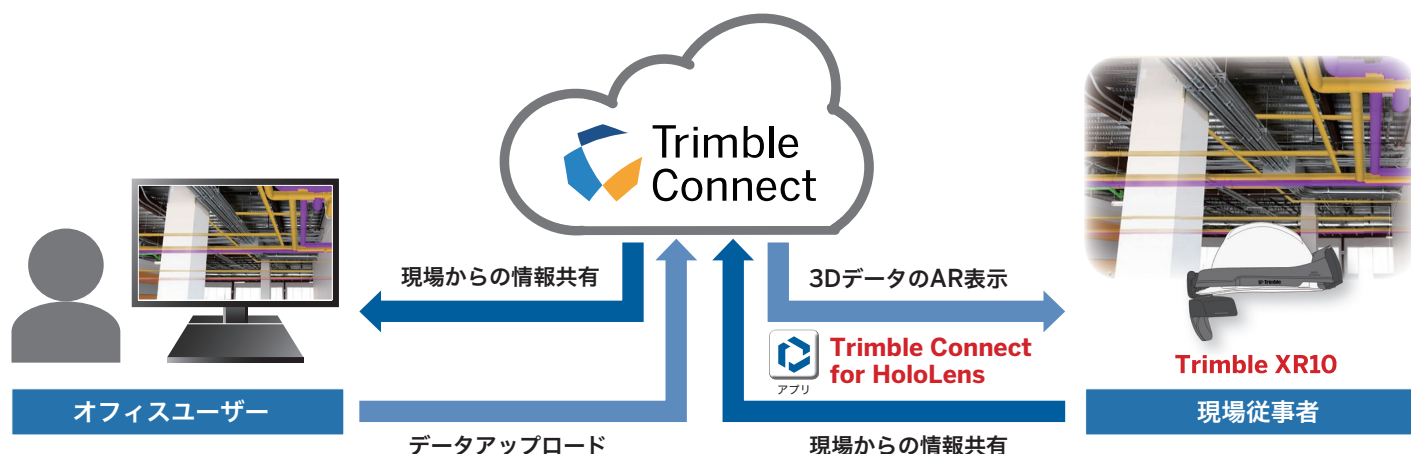


Trimble Connect for HoloLens

▶ 施工BIMの運用を推進するXR10とTrimble Connect for HoloLens



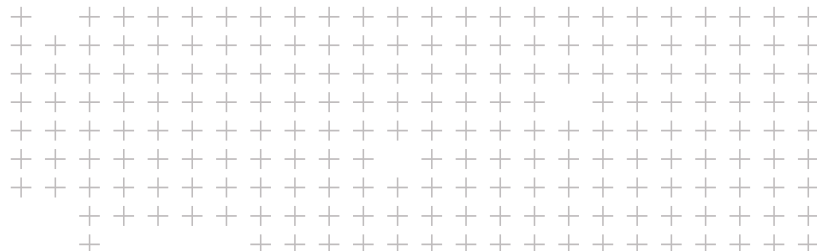
Trimble Connect for HoloLens は3D設計データをクラウド上で3Dモデルに変換・活用することができるクラウドサービスで、施工関係者間での図面の整合性確認や、施工関係者間の合意形成を迅速化できます。アップロード可能なデータ容量、プロジェクト数、そしてプロジェクト毎のメンバー数が無制限にお使い頂けます。

▶ 用途に応じて3種類のライセンスがご選びいただけます

	アカウント登録スターター Personal	オフィス用クラウドサービス Business Premium	クラウドサービス+ XR10用アプリ Connect for HoloLens
アップロード可能なデータ容量	10GB	無制限	無制限
プロジェクト数	1	無制限	無制限
プロジェクト毎のメンバー数	5	無制限	無制限
1ファイルのアップロードサイズ	10GB	100GB	100GB
AR/VR機能	モデル配置機能のみ	モデル配置機能のみ	全機能 ※裏面の特長をご覧ください
お支払いシステム	無料	年間一括払い	年間一括払い

Trimble XR10のクラウドサービスは、用途に合わせてお選びください。

- ▶ Trimble XR10のユーザー登録は無料のアカウント登録スターター**Personal**をお使いください。
- ▶ 3Dモデルのビューワ機能のみでクラウドをお使いの場合はオフィス用クラウドサービス**Business Premium**をお選びください。
- ▶ 3D設計データを変換して現場で3Dモデルを活用になる際は、クラウドサービス+XR10アプリ**Trimble Connect for HoloLens (TCH)**をお選びください。変換したモデルを配置するだけの機能でしたら**Personal**や**Business Premium**でも可能です。



▶ Trimble Connect for HoloLensの特長

最先端MR技術の活用を場を拡張し、施工BIMのストレスフリーな運用を支援

Trimble XR10とクラウドサービスTrimble Connect for HoloLens (TCH)を活用することにより、設計段階から図面の整合性確認や施工関係者間の合意形成を迅速化できます。



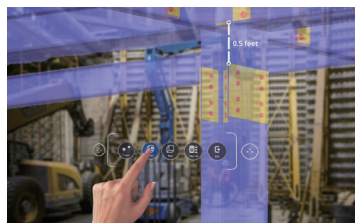
1. 設計データと現物との干渉チェック

施工前に3Dモデルを見ながら空間把握や課題抽出を行うことで手戻りの低減・防止に貢献します。更に鉄骨などの躯体や仕上げ等の建築工事とダクト・配管等の設備工事における現実空間に3Dモデルを重ねて表示することで、相互に干渉しないか等の確認作業が省力化できます。



2. コラボレーションの活性化

Trimble XR10同士のコラボレーション機能により、現場抽出した問題に対し現場作業者だけでなくオフィスで働くメンバーへ手順の確認・指示が可能。施工計画遅延の回避に貢献します。



3. リアルタイムな情報共有

現場で抽出されたタスクをクラウドで共有することで、作業員やオフィスメンバーを含めタイムリーに進行状況を把握できるため、計画に沿ったプロジェクトの推進が可能になります。また、タスクをクラウドで管理することで作業漏れを回避することも可能です。



4. 各種3D設計データに対応

SKP、IFC、RVT、DWG、DXFなど各種CAD形式に対応しているので、お手持ちの3D設計データが現場ですぐに活用できます。また2Dデータも対応しているため、3Dと2Dを同じプラットフォームで管理することができます。

株式会社 ニコン・トリンブル

NIKON-TRIMBLE CO.,LTD.

144-0035 東京都大田区南蒲田2-16-2

bc_info@nikon-trimble.co.jp

© 2019, Trimble Inc. 著作権所有。Trimbleおよび地球儀と三角形のロゴは、Trimble Inc. の登録商標であり、米国、およびその他の国で登録済みです。VISIONはTrimble Inc. の商標です。Microsoft、及びWindowsは米国およびその他の国、またはそのいずれかにおけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。その他すべての商標は、それぞれの所有権に帰属します。

本誌仕様又は掲載内容は予告なく変更になる場合があります。(2020.07)

2CJ-H5LT-1(2007-10)BS